

社会情報学会 (SSI)
研究活動委員会定例研究会

「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム*」(MDASH)
認定制度ワークショップ

* Approved Program for **Mathematics, Data science and AI Smart Higher Education**

【趣旨説明】

21 世紀、デジタル技術の更なる革新は、社会のあり方、必要とされる知識、スキルに大きな影響を及ぼしています。日本政府は、2019 年 3 月に「AI 戦略 2019」を公表し、Society 5.0 の実現に向けた取り組み、戦略目標を具体化しました。そこでは、AI 時代に対応した人材の育成が最も重要な戦略目標とされ、「数理・データサイエンス・AI」を理解し、活用できる人材を育成する仕組みとして、内閣府・文部科学省・経済産業省 3 府省の連携により、大学等が実施する優れた教育プログラムを認定する「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」(以下、「MDASH」「MDASH 認定制度」)が創設されました。

まず、MDASH リテラシーレベルの認定が 2021 年度に始まり、78 件がプログラム認定され、その中から、先導的で独自の工夫・特色を有するプログラム 11 件が「MDASH プラス」としての認定を受けました。さらに、応用基礎レベルについても準備が進められています。

本学会会員には、こうしたプログラムに関心をもち、具体的なプログラム実施あるいは構想・準備に関与されている方もいらっしゃると思います。また、こうした制度の社会的文脈自体、社会情報学の観点から重要ではないかと考えます。

そこで、今回は、MDASH 認定制度の概要とその社会的文脈を考えるワークショップを研究活動委員会として企画いたしました。文部科学省で MDASH 認定制度を担当されている木谷慎一様(専門教育課課長補佐)、2020 年度に新設された情報データ科学部の教授であり、MDASH (リテラシーレベル)プログラムの申請、運用において中心的役割を担われている長崎大学の植木優夫先生、MDASH モデルカリキュラム(リテラシーレベル・応用基礎レベル)の全国展開に関する特別委員会委員、立教大学情報戦略委員会副委員長を務められ、立教大学 MDASH 認定申請準備の責任者である山口和範先生(経営学部長)をお招きし、ご講演いただき、MDASH 認定制度についての理解を深め、高等教育が果たすべき役割、制度が意味する社会的文脈についての社会情報学的議論を行う機会としたいと存じます。

記

- 1 開催日時： 2021年12月11日（土）15時30分～17時30分
- 2 開催会場： Zoom オンライン（参加申込をされた皆さまに、電子メールにて、当日の Zoom に関する情報をご連絡いたします）
- 3 プログラム概要（予定）
 - 司会 河又貴洋 長崎県立大学
 - 15:30 開会挨拶
木村忠正（研究企画委員会委員長・立教大学）
 - 15:35 「AI 戦略の動きと MDASH 認定制度等について」
木谷慎一（文部科学省高等教育局専門教育課課長補佐）
 - 15:55 質疑応答
 - 16:00 「長崎大学における数理・AI・データサイエンス教育の取り組み」
植木優夫（長崎大学情報データ科学部教授）
 - 16:40 「建学の精神に基づいたデータサイエンス教育—立教大学の事例より—」
山口和範（立教大学経営学部学部長・教授）
 - 17:20 質疑応答
 - 17:30 閉会挨拶
櫻井成一朗（社会情報学会会長・明治学院大学）

4 参加申込方法

以下の Google Form に必要事項をご記入の上、お申込みください。申込の皆さまには、申込に記載いただいた電子メールアドレスに、開催 1 週間前を目途として、当日の URL 等をお知らせいたします。

<https://forms.gle/aTChtVgJ33xDGCR5A>

